

「大崎・栗原医療圏における医療提供体制の更なる連携の検討」に向けたアンケート調査について 実施要領

宮城県保健福祉部医療政策課

1 目的・背景

- 本アンケート調査は、令和8年3月6日に開催された、令和7年度第3回宮城県地域医療構想調整会議（大崎・栗原区域）において、各医療機関等に対する「連携強化に関するアンケート調査」を実施することについて了承されたことを踏まえ、実施するものです。
- 国では、医療と介護の複合ニーズを抱える85歳以上の高齢者の増加や人口減少がさらに進む2040年、さらにその先の時代を見据え、「治す医療」と「治し支える医療」を担う医療機関の役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護提供体制を構築する必要があるとされています。
- 大崎地域（大崎市、色麻町、加美町、涌谷町及び美里町）においては、令和5年10月に「大崎地域の医療提供体制の確保に係る連携協約」を締結し、大崎市民病院と周辺の公立病院の間で機能分化や医療従事者の派遣等の連携体制を構築しています。今後は、医師会や民間医療機関、高齢者施設等、さらには近隣他地域の医療機関も含めた、より広範かつ強固な連携体制の確立が求められています。
- 前記会議では、「連携の更なる強化」として、医師会や民間医療機関、近隣他地域の医療機関等も含めた役割・機能の最適化と連携・集約強化の検討推進、将来的な地域医療連携推進法人の設立も見据えた議論を進めることについて審議了承されたところです。
- 地域医療連携推進法人の設立は、参加法人等の医薬品・医療機器の共同購入の調整、医療法上の特例を活用した病床数の柔軟な融通、機動的な人事配置等を可能とし、地域において質の高い医療を効率的に提供する手段として有効な選択肢の一つとされています。また、大崎市民病院では、令和9年度中に「地域医療連携拠点施設」の開所を予定しており、ICTを活用した遠隔医療や共同研修、人事交流等の加速に向けたハード面の整備が進んでいることから、この機を捉え、ソフト面においても従来の「任意の協力関係（連携協約）」から一歩踏み込んだ体制の検討を進めることは非常に有効であると考えられます。
- 本調査は、単に法人制度導入の是非を問うものではなく、各医療機関が直面している経営課題や連携上の障壁を可視化し、関心が高いテーマから段階的に検討を進め、円滑な合意形成を図るための端緒とするため実施するものです。

2 アンケート調査の概要

（1）調査の目的

大崎・栗原医療圏における医療機関の経営・運営上の課題を可視化するとともに、急性期機能の集約、研修の合同実施、資機材の共同利用・共同購入、事務の共同発注等の「連携強化のテーマ」に対する参加意向を把握し、より強固な連携体制の構築（地域医療連携推進法人の設立など）に向けた基礎資料とするものです。

（2）調査の名称

「大崎・栗原医療圏における医療提供体制の更なる連携の検討」に向けたアンケート調査

（3）調査の対象

大崎・栗原区域に所在する病院（25病院）

（4）調査事項 ※詳細は別紙のとおり

- ア 基本情報
- イ 経営・運営上の具体的な課題
- ウ 現行の病院間連携の評価
- エ 具体的連携メニュー（解決策）への期待度
- オ 法的枠組み（地域医療連携推進法人等）への評価

(5) 調査期間

令和8年6月25日(木)～令和8年7月8日(水)

(6) 調査方法

「みやぎ電子申請システム (LoGo フォーム)」を活用したオンライン調査

<アンケート回答フォーム URL>

<https://logoform.jp/form/GQGB/1628211>

<アンケート回答フォーム二次元コード>



(7) 調査結果の取扱い

ア 回収後、速やかに課題を類型化し、宮城県地域医療構想調整会議で報告します。

イ 個別病院の経営状況に触れる回答(大問「【Ⅱ】 経営・運営上の具体的な課題について」)は統計的に処理し、公表にあたっては特定ができないよう配慮します。

「大崎・栗原医療圏における医療提供体制の更なる連携の検討」に向けたアンケート調査 設問

【Ⅰ】 貴院の基本情報について

Q1. 貴院の所在地を選択してください。

- ☐ 大崎市
- ☐ 加美町
- ☐ 色麻町
- ☐ 涌谷町
- ☐ 美里町
- ☐ 栗原市

Q2. 貴院の開設主体を選択してください。

- ☐ 公立
- ☐ 公的
- ☐ 医療法人
- ☐ その他（個人等）

Q3. 貴院の総病床数を選択してください。

- ☐ 99 床以下
- ☐ 100～199 床
- ☐ 200～299 床
- ☐ 300～499 床
- ☐ 500 床以上

【Ⅱ】 経営・運営上の具体的な課題

Q4. 現在、貴院の経営において最も大きな「不安要素」は何ですか（複数回答可）。

- ☐ 人件費の高騰
- ☐ 医師の確保
- ☐ 看護師およびコメディカル（薬剤師・技師等）の確保
- ☐ 医薬品・材料費の高騰
- ☐ 患者数（入院・外来）の減少
- ☐ 働き方改革に伴う医師の負担増
- ☐ 老朽化した施設・設備の更新資金
- ☐ 近隣他院との機能重複（競合）
- ☐ その他（自由記述）

Q5. 医師の確保について、現在の状況を教えてください。

- ☐ 十分確保できている
- ☐ おおむね確保できている
- ☐ 欠員がある・不足気味
- ☐ 深刻に不足している

Q6. 看護師およびコメディカル（薬剤師・技師等）の確保について、現在の状況を教えてください。

- ☐ 十分確保できている
- ☐ おおむね確保できている
- ☐ 欠員がある・不足気味
- ☐ 深刻に不足している

Q7. 令和 6 年 4 月からの医師の働き方改革（時間外上限規制）への対応状況はいかがですか。

- ☐ 支障なく対応できている
- ☐ なんとか対応できているが、負担が大きい
- ☐ 一部で診療体制の縮小を検討せざるを得ない

- ☐ 非常に困難を感じている

Q8. 医薬品・診療材料等の購入単価抑制に向けた「価格交渉」に限界を感じていますか。

- ☐ 非常に感じる（単独での交渉に限界）
- ☐ やや感じる
- ☐ あまり感じない
- ☐ 自力で十分可能

Q9. 給与計算、レセプト点検、給食などの「バックオフィス業務（事務部門）」の効率化に課題を感じますか。

- ☐ 非常に感じる（人手不足・コスト増）
- ☐ やや感じる
- ☐ 特に課題はない

【Ⅲ】 現行の病院間連携の評価

Q10. 現在の病院間の役割分担・病院間連携に満足していますか。

- ☐ 満足
- ☐ おおむね満足
- ☐ やや不満
- ☐ 不満

Q10-2. Q10 で「不満・やや不満」と回答した方にお聞きします。その主な理由は何ですか。

- ☐ 転院調整の事務手続きが煩雑
- ☐ 紹介先病院との診療方針の共有が困難
- ☐ 転院先病床が常に不足している
- ☐ 病院間での患者の奪い合いが生じている
- ☐ その他（自由記述）

Q11. 地域の医療機関同士での「ICT を活用した情報共有（カルテ情報の参照等）」は進んでいると感じますか。

- ☐ 十分進んでいる
- ☐ 進み始めているが不十分
- ☐ ほとんど進んでいない

Q11-2. ICT を活用して共有を図ることが有用と考えられる情報は何か（複数回答可）。

- ☐ 診療情報提供書
- ☐ 検査結果
- ☐ 画像データ
- ☐ 処方情報
- ☐ 入退院情報
- ☐ ADL・介護情報
- ☐ 訪問看護記録
- ☐ 急変時対応方針
- ☐ 看取り方針
- ☐ その他（自由記述）

Q12. 休日当番医や転院調整、二次救急における、近隣病院とのバックアップ体制に不安を感じますか。

- ☐ 非常に感じる
- ☐ 時折感じる
- ☐ あまり感じない

【IV】 具体的連携メニュー（解決策）への期待度

Q13. 以下のうち、地域で連携して取り組むことでメリットがあると思う項目を選択してください（複数回答可）。

- ☐ 医薬品の共同購入
- ☐ 診療材料の共同購入
- ☐ 高度医療機器の共同利用
- ☐ 給与計算事務の共同化
- ☐ レセプト業務の共同化
- ☐ 清掃業務の共同発注
- ☐ 給食業務の共同発注
- ☐ リネン供給の共同発注
- ☐ 電子カルテ等の情報共有システムの構築
- ☐ 医師・医療スタッフの人事交流（医師の派遣や看護師の研修受入など）
- ☐ 医師・医療スタッフの共同採用の実施
- ☐ 医師・医療スタッフの合同研修の実施
- ☐ 経営データ（DPC 等）の共同分析による経営改善
- ☐ 資金調達（融資）の共同化による金利負担の軽減
- ☐ その他（自由記述）

Q14. 「医薬品の共同購入」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。

- ☐ 積極的に参加を検討したい
- ☐ 協議の内容次第で検討したい
- ☐ 静観したい
- ☐ 参加は考えにくい

Q15. 「診療材料の共同購入」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。

- ☐ 積極的に参加を検討したい
- ☐ 協議の内容次第で検討したい
- ☐ 静観したい
- ☐ 参加は考えにくい

Q16. 「高度医療機器の共同利用」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。

- ☐ 積極的に参加を検討したい
- ☐ 協議の内容次第で検討したい
- ☐ 静観したい
- ☐ 参加は考えにくい

Q17. 「給与計算事務の共同化」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。

- ☐ 積極的に参加を検討したい
- ☐ 協議の内容次第で検討したい
- ☐ 静観したい
- ☐ 参加は考えにくい

Q18. 「レセプト業務の共同化」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。

- ☐ 積極的に参加を検討したい
- ☐ 協議の内容次第で検討したい
- ☐ 静観したい
- ☐ 参加は考えにくい

Q19. 「清掃業務の共同発注」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。

- ☐ 積極的に参加を検討したい
- ☐ 協議の内容次第で検討したい

- ☐ 静観したい
 - ☐ 参加は考えにくい
- Q20. 「給食業務の共同発注」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。
- ☐ 積極的に参加を検討したい
 - ☐ 協議の内容次第で検討したい
 - ☐ 静観したい
 - ☐ 参加は考えにくい
- Q21. 「リネン供給の共同発注」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。
- ☐ 積極的に参加を検討したい
 - ☐ 協議の内容次第で検討したい
 - ☐ 静観したい
 - ☐ 参加は考えにくい
- Q22. 「電子カルテ等の情報共有システムの構築」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。
- ☐ 積極的に参加を検討したい
 - ☐ 協議の内容次第で検討したい
 - ☐ 静観したい
 - ☐ 参加は考えにくい
- Q23. 「医師・医療スタッフの人事交流（医師の派遣や看護師の研修受入など）」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。
- ☐ 積極的に参加を検討したい
 - ☐ 協議の内容次第で検討したい
 - ☐ 静観したい
 - ☐ 参加は考えにくい
- Q24. 「医師・医療スタッフの共同採用の実施」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。
- ☐ 積極的に参加を検討したい
 - ☐ 協議の内容次第で検討したい
 - ☐ 静観したい
 - ☐ 参加は考えにくい
- Q25. 「医師・医療スタッフの合同研修の実施」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。
- ☐ 積極的に参加を検討したい
 - ☐ 協議の内容次第で検討したい
 - ☐ 静観したい
 - ☐ 参加は考えにくい
- Q26. 「経営データ（DPC 等）の共同分析による経営改善」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。
- ☐ 積極的に参加を検討したい
 - ☐ 協議の内容次第で検討したい
 - ☐ 静観したい
 - ☐ 参加は考えにくい
- Q27. 「資金調達（融資）の共同化による金利負担の軽減」に関する検討会議を開催する場合、参加への検討意向はいかがですか。

- ☐ 積極的に参加を検討したい
- ☐ 協議の内容次第で検討したい
- ☐ 静観したい
- ☐ 参加は考えにくい

【V】 法的枠組み（地域医療連携推進法人）への評価

ここでは、「地域医療連携推進法人」に対するお考え等について御質問します。
地域医療連携推進法人については、別添の資料を御参照ください。

Q28. 医療法上の「地域医療連携推進法人」制度について、どの程度認識していますか。

- ☐ 内容を詳しく知っている
- ☐ 概要を知っている
- ☐ 名前を聞いたことがある程度
- ☐ 知らない

Q29. 医療法地域医療連携推進法人制度について理解を深めるに当たり、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答可）

- ☐ 制度に関する知識を得るための勉強会の開催
- ☐ 先行事例の紹介・共有
- ☐ 先行事例の視察
- ☐ 特に必要なものはない
- ☐ その他（自由記述）

Q30. 地域医療連携推進法人の参加法人等同士であれば、病床過剰地域においても病床融通を実施できるととされています。任意の「連携協約」では不可能な「グループ内での病床数の融通（特例）」は、地域全体の医療機能の最適化に有効だと思いますか。

- ☐ 非常に有効（柔軟な機能転換が可能）
- ☐ ある程度有効
- ☐ あまり有効ではない
- ☐ わからない

Q31. 同様に、地域医療連携推進法人から参加法人への「資金貸付」や「債務保証」などが可能になる法的スキームの必要性を感じますか。

- ☐ 強く感じる（経営安定化のため）
- ☐ ある程度感じる
- ☐ 必要性は感じない
- ☐ わからない

Q32. 各病院の独立性を保ちつつ、スケールメリットと法的特例を享受できる「地域医療連携推進法人」の設立は、地域医療提供体制の維持・確保に係る課題解決に向け有効であると思いますか。

- ☐ そう思う
- ☐ ある程度そう思う
- ☐ そうは思わない
- ☐ わからない

Q33. 地域医療連携推進法人の設立を見据え、地域の病院の経営や人材、教育を支援するための連携の枠組みについて検討を行う場合、参加への意向はいかがですか。

- ☐ 積極的に参加を検討したい
- ☐ 協議の内容次第で検討したい
- ☐ 静観したい
- ☐ 参加は考えにくい

Q33-2. Q33 で「積極的に参加を検討したい・協議の内容次第で検討したい」と回答した方にお聞きします。もし地域医療連携推進法人を設立する場合、どのような役割（立ち位置）を担いたいと考えていますか。

- ☐ 法人の中核として参加したい（事務局を担う 等）
- ☐ 一構成員として、特定の共同事業（共同購入、研修、人材交流等）に協力したい
- ☐ 参加を検討したいが現時点で具体的な役割のイメージはない
- ☐ その他（自由記述）

Q34. 地域医療連携推進法人内において中核となる病院が担うべき役割は何だと思えますか。

- ☐ 医師・専門スタッフの派遣
- ☐ 経営ノウハウの共有・事務支援
- ☐ 高度な医療機能の集約と逆紹介の推進
- ☐ 強力なリーダーシップによる地域調整
- ☐ その他（自由記述）

Q35. もし、貴院が地域医療連携法人に参加することとなった場合、貴院にとって最も譲れない条件は何ですか。

- ☐ 自院の安定的経営の維持
- ☐ 自院の病床機能の維持
- ☐ 会費や拠出金の低廉化
- ☐ 公平な意思決定（ガバナンス）への参画
- ☐ その他（自由記述）

Q36. 地域医療提供体制の維持・強化に関して、宮城県（行政）に最も期待する役割は何ですか。

- ☐ 地域医療連携推進法人設立に係る事務的支援・助言
- ☐ 財政的支援（補助金・税制優遇等）
- ☐ 地域の利害関係の調整
- ☐ 関係機関との連携調整（協議の場づくり）
- ☐ ICT・医療 DX に係る支援
- ☐ その他（自由記述）

【Ⅵ】 自由意見

Q37. 医療提供体制を維持・強化するために、貴院が抱える不安や、新たな枠組みへの期待、提案等を自由にご記入ください（自由記述）。

（自由記述欄）